

森けんじ市議会レポート



みどりが丘の「子育て交流センター」工事開始！



きらら通信 vol.15

平成31年1月

本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

平成30年第4回定例会が終了しました。注目すべき議案等は、一般会計補正予算(空き店舗活用事業補助金(大網駅ビル内への商工会出店)、小学校プール改修、小中学校エアコン設計業務など)、病院事業会計補正予算(大網病院エアコン改修)、などがあげられます。

今議会では「**小中学校空調設備設計業務委託**」が可決されました。**幼稚園、小中学校のエアコン設置は喫近の課題**であり、国の助成を受けて平成31年度いっぱい、来年夏前頃までに設置できる見込みとなりました。

また、**大網駅ハブリコ**内に県の補助金を得て市商工会が店舗を開設、特産品等の販売をする事になりました。2月2日にオープン予定です。市のお金も使う事から、**図書**の返却ボックス、市の案内所的な役割も担って頂けるよう要望しています。

今議会でも、質問(会派代表質問)を行いました。

○公共施設等の管理について(管理運営状況の確認、市役所庁舎の今後に向けた考え方など)

○防災・減災政策について(「**数年の自然災害の市内への影響、自主防災組織の結成率、災害時の体制、ホームページ、SNSの整備など**」)

○移住、定住政策について(「**まち・ひと・しごと総合戦略**」の3年間の実績、「**移住・定住フェア**」等への出展など) 詳しくは、裏面や議会だよりをご覧ください。市議会ホームページからは動画も見られます。

昨年は11月に「都市計画道路駅東中央線の開通、今年には「**子育て支援館**」のオープン、3月には「**大網白里スマートインター**」の開通、**四木木「築山**」の完成など、市の大きな事業が形になりつつあります。さらなる街の賑わい、子育てしやすい市民が住み続けたいと思ってもらえるまちをめざして、今後も活動して参ります。

今後ともご意見、ご要望など、ぜひお知らせ下さい。

森けんじ

☆「第13回市政報告会」を開催します。

日時:平成31年2月2日(土)、午前10:00～

場所:みどりが丘自治会館

※どなたでもご参加いただけます。



市政報告会のようす

1月7日、増穂保育所脇に「子育て支援館」がオープンしました。



子育て支援センター、簡易マザーズホーム、幼児教室、小規模保育、ファミリーサポートセンター等の機能を有する児童福祉施設です。職員はすべて市職員になります。



都市計画道路大網駅東中央線が11月9日開通しました。

担当委員会は文教福祉常任委員会副委員長。他に議会だより編集委員長、議会運営委員会委員、等で活動しています。

森けんじとまちづくりを考える会(千葉県政治団体No.388070)

大網白里市みどりが丘3-11-2

電話とファックス:0475-51-1478

ホームページ : <http://www.morikenji.net/>

(「森けんじ」で検索ください)

12月、平成30年第4回定例会での代表質問の内容(要約)

行政の「経営」がキーワードになりつつあります。市は財政が厳しい中でも公共施設の再編、合理化、ふるさと納税の活用、中心市街地に賑わいを作る、公共交通の運行効率を上げる、など経営感覚が求められます。今後も失敗を恐れず、小さくても特色のある強い自治体を目指して参りましょう。

○公共施設のマネジメントについて

問、今後の人口減少により、市の財政も益々厳しくなります。昨年策定された「大網白里市公共施設等総合管理計画」に基づき、公共施設マネジメントの考え方を伺います。

答、市の資産の状況を把握・分析し、維持更新費用の見込みを明らかにしつつ、総合的かつ計画的な管理を推進するための基本方針として、大網白里市公共施設等総合管理計画を昨年3月に策定しました。これにより、市の保有資産の現況は、築30年を超える公共施設が全体の3割強であり10年後には7割、20年後には8割と、今後急速に老朽化が進む事が明らかとなりました。またこれらを今後50年間維持するためには400億円以上の費用が必要です。一方、少子化の進行により生産年齢人口は30年後には半減すると予測され、歳入も減少、このまま全ての公共施設を保有しますと財政破綻を招く要因となる事が指摘されています。この事から市では公共施設の管理の基本方針として、①公共施設の総量の削減、②建物維持管理費の削減、③効率的・効果的な管理運営の3つの方針を掲げました。特に総量の削減については30%の削減を目標とします。既に市営住宅や幼稚園、保育園のあり方など施設整備の検討を始めていますが、今後は施設の稼働率や利用状況の検証を踏まえ、長寿命化や統廃合など施設ごとの整備方針を定めた個別施設計画を平成32年度までに策定し、計画的なマネジメントを推進して参ります。

問、市の公共施設等の年間維持費(ランニングコスト)はどの程度の金額になるのですか。

答、道路や排水路等のインフラも含めた公有財産の1年間の維持管理費は、約15億円です。代表的な例として大網白里アリーナが約8,000万円、小学校7校が約3億円、中学校3校が約1億円、また道路については約3億円です。

問、我々市民の理解も必要。今後の研究をお願いします。次に市役所庁舎。先日、耐震強度は向こう20~30年使用が可能と聞いたが、「改修」と「建て替え」、それぞれ費用はどの程度かかるのか。

答、長寿命化改修につきましては約5億5,000万円、新庁舎を建設した場合は約28億円の経費が見込まれます。各々設計費や仮庁舎の経費は含みません。さらに、移転となりますと用地取得経費が必要。現在の財政状況では改修の方向と考えますが、検討を経て年度内には方向性を示して参ります。

※その他、○防災・減災政策、○移住、定住政策について問い質しました。



市内の公共施設は老朽化？

☆公共施設マネジメント

市では昨年度、大網白里市公共施設等総合管理計画を作成、①総量の削減②維持管理費の削減③効率的効果的な運営を掲げ、動いています。無駄は削ぎ、必要なものは維持。市庁舎の今後についても確認しました。

☆防災・減災政策について

ここ数年の市内における自然災害の被害を確認。災害に備えるため、市内の自主防災組織の結成率の低さ(平均・全国:82.7%、千葉県:63.5%、大網白里市:38.9%)を指摘し、今後の地域における災害への備えを確認、提言を行いました。



防犯灯の設置を進めています。

○みどりが丘保育園脇の防犯灯

みどりが丘保育園脇の駐車場は朝、夕の送り迎え時に多くの保護者の皆様が乗り降りされます。園駐車場の向かいには灯がなく、冬季の夜は暗く危険で、多くの皆様、そして園からも相談を頂きました。内谷地区の皆様、市関係者の協力を頂き、昨年11月末に防犯灯を設置しました。

○大網中学校下の防犯灯

「大網中入口交差点」から両総水道沿いの道は、灯がまばらで夜間真っ暗になる場所もあり、大網中生・大網高生・そして逆に駅から歩いてくる一般の方にとっても暗く危険でした。市担当者と調整の上、東京電力様の電柱に防犯灯を設置させて頂きました。今後とも住民の安全の為、安全面に配慮して参ります。



30kmウォークでご挨拶。



「(仮称)子育て交流センター」は来年4月開館予定。



11月、みどりが丘「(仮称)子育て交流センター」工事説明会。

※次回の大網白里市議会は・・・

平成31年第1回定例会は平成31年2月25日(月)~3月22日(金)まで開催予定です。ぜひ傍聴頂くかインターネット中継をご覧ください。(一般質問は2/27(水)~3月1(金)を予定。詳しいスケジュールは、市議会ホームページ等でご確認ください)

平成31年1月(第15号)

発行人: 森 けんじ

299-3255 大網白里市みどりが丘3-11-2

電話とファックス: 0475-51-1478

http://www.morikenji.net/ (メールもHPからどうぞ)

